

こういゅう虹保育園 だより

令和2年2月12日 号



今年もなぜか雪の降らない冬で、もう梅の花も満開。春が近いと思えるような日々が続いていましたが、やっと待望の雪が降り、雪遊びを楽しみました。いよいよ今年度も残り2か月。締めくくりにふさわしい楽しい毎日が待っています。

1年間の総まとめの参観日にお越しください

15日(土)

講演会と保護者会総会にも是非参加を!!

○いちご組・たんぽぽ組・ちゅうりっぷ組

半月前に発表会があり、舞台での可愛い姿を見て頂いたばかりです。今回は保育室で遊んでいる様子を見て頂いたり、おやつを用意や、手洗いの様子、友達とのかかわり等おやつを食べるところなど普段の生活の中での成長の様子を見て下さい。幼児クラスに兄弟の居られる方は、そちらを優先して頂いても良いです。

○うみ組

じゃんけん遊びや、ルールのある遊びなど友達と関わって楽しんでいる様子を見て下さい。※お家の人から離れられないお子さんもあるかもしれませんが、4歳5歳と大きくなるにつれて普段の様子が出せるようになるので、成長の一過程の今の姿を受け止めて下さいね。

○ちきゅう組

「大好きな運動遊びを見せたい」との子どもたちの希望により、運動遊びを中心に見て頂きます。

○たいよう組

去年のたいよう組の姿に憧れ、「家の人に一輪車に乗る姿を見せたい」と練習に熱が入り、ここ1週間くらいでどんどん乗れる子どもが増えてきました。出来るようになることが全てではないですが、「努力すれば何でもできる」ことを学んでほしい、出来なくても頑張る姿も見たいと考えています。

「自分の考えを自分の言葉で表現し、発表する」を小さな頃から積み重ね、この1年間も取り組んできました。発表も聞いてください。

[丹後キッズ Dream Show] 3月7日(土) 午前

たいよう組がファッションショーに出演

場所 久美浜公会堂 出演はこういゅうの園児のみ
京丹後市主催「丹後ちりめん創業300年事業」の一環として行われる事業です。

<取組の経過>

夏 ⇨ 蚕の飼育

12月 ファッションモデル 前田一翠さんと交流

1月 繭の糸引き作業体験

3月6日 リハーサル 前田一翠氏指導

前田一翠氏は世界的に活躍されているモデルさんです。子どもたちが個々に描いた絵が丹後ちりめん織られ、その衣装を身につけて歩きます。ふるさとを愛する心や、自分に自信をもたせたい等の願いがあります。



繭から糸車で糸をつむぐ体験中

大根に割り箸で穴をあけて紐を通してあります。



大きな丸大根に目はくぎ付け。まるですいかみたい。



2月のクッキング

立派な大根をたくさん届けて頂き有り難うございました。

その1 切り干し大根作り(いか干し大根)

皮むきは4,5歳児、薄く切った大根に切れ目を入れるのは5歳児、大根をつるすために割りばしで穴をあけ紐を通す作業は、3,4歳児。皮むきは何回も経験して慣れており、指を切る子もなし。5歳児は、毎日チャボのえさ切りで包丁使いが上手になっています。3歳は紐遠し作業に悪戦苦闘していましたが、毎日牛乳を飲む際にストローの袋を結ぶことをしており上手に結べる子が殆どでした。出来上がった大根をテラスに干しましたが、ここ最近の寒波でよい具合に乾燥した「いか干し」が風に吹かれて食べてもらうのを待っています。お家でもお子さんと一緒にいか干し大根作りにチャレンジしてみませんか。

ケーブルテレビで放映予定です。



その2 餅つき 2月3日(月)

まずはスライドショーで、田植えから草取り稲刈り、脱穀、親子行事での餅つきまでの活動を映像で振り返りました。

今回の餅つきは、まず蒸した米を杵でつぶす作業、ついて餅にする作業もたいよう組の子ども達に体験してもらいました。2回目はつく作業のみちきゅう組が体験。うみ組、ちゅうりっぷ組も周りで応援し、つきたての餅をきな粉でおいしく味わいました。

その3 味噌作り 2月13日「みそってどうやって作るのかな?」

給食では、「豆腐は何からできているのかな」「味噌は?醤油は?おからは?」などと話をしますが本当かな?

たいよう組は春に大豆をまいて、大豆の栽培をしました。苗を家に持ち帰りましたが「熱心に世話をして枝豆を収穫した」と嬉しい話も聞きました。保育園で栽培した大豆は夏に大豆ご飯にして食べました。豆まき用にと、会長様の山の畑をお借りし種をまいた大豆は、残念ながら鹿さんが食べてしまいました。

仕込んだみそは10~12か月たないと出来上がらないそうなので、たいよう組さんは残念ながら体験だけになりますが、大豆から味噌が出来ると学んだことはずっと心に残ることでしょう。

おしらせ

○たからもの展 2月28日(金)~3月2日(月) 平日は4時~ 土曜日曜は終日開催

1年間の作品を展示します。幼児の絵は上手下手や得意不得意ではなく、子どもの心を反映したものだとも言われています。沢山の楽しい体験が、楽しさあふれる絵や作品として表現されています。たくさん褒めてあげることは、作品作りがすきになり、心の安定や自信に繋がります。

✧後藤裕子保育士は10月に男児が、徳田真実保育士は12月に女児が生まれました。高野奈苗保育士は5月に出産予定です。いずれも1年間の育児休暇を頂きますが、よろしくお願い致します。

子どもたちは遊びながら、「自然との関わり」「思考力の芽生え」「人間関係」「言葉による伝えあい」等沢山の力を獲得しています。

大きな雪玉が出来たけどどうやってのせるか相談しあれこれと試行錯誤中。「スコップにのせてみよう」

大きなたらいに入れてもだめで、最後は戸板にのせ、皆で力を合わせて大成功。

